2014年
(平成26年)
1月
第138号

青い鳥

新年のあいさつ

久保　修一
兵庫県社会福祉事業団
理事長

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、今年は、当事業団が設立されて五十年という節目の年を迎えました。事業団の規模は、全国的に見ても五本の指に入るようなところまで発展してまいりました。これもひとえに職員の皆様方のご尽力によるところが大きいと深く感謝申し上げます。

現在、事務局や施設の代表の方々をメンバーとする検討委員会を立ち上げ、五十周年にふさわしい事業になるよう鋭意検討をいただいているところです。詳細が決まりましたら、職員の皆様方にもご協力をいただくことになりますので、よろしくお願いします。

事業団がこの五十年を契機にさらなる発展をしていくためには、何をなすべきか。当面の課題は、障害児者施設の老朽化に対応した整備があります。建設費積立金の確保を図りながら計画的な整備に努めてまいります。中長期的な課題としては、人材の育成であります。事業団の安定した経営を支えるのは人であります。職員一人ひとりのモチベーションを高め、技量を身につける取り組みを進めてまいります。

目　次

1 ……新年のあいさつ
兵庫県社会福祉事業団　理事長　久保　修一
2 ……事務局だより/秋の叙勲/厚生労働大臣表彰
3 ……シリーズ「次長・課長に聞く」
(第4回丹南精明園課長(地域支援担当)山本 浩文)
4〜5 ‥施設だより
6 …… スポーツ・文化だより/ペンりれい/掲示板
7 ……海外派遣研修報告
8 ……特集「年男・年女に聞く」
/平成25年の主な出来事/あとがき

ボランティアの皆様によって制作された門松
『ことぶき苑(豊岡市)にて撮影』

発行　社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団
神戸市西区曙町1070
TEL (078)929-5655　FAX (078)929-5688
電子メール info@hwc.or.jp　ホームページ http://www.hwc.or.jp/

事務局だより

秋の勲章

「秋の叙勲　瑞宝章小綬章」受章によせて

兵庫県社会福祉事業団顧問　藤田　久夫

平成二十五年秋の叙勲に際し、受章の栄に浴し、十一月八日勲記勲章の伝達を受けました。

この受章は、私個人のものではなく、兵庫県社会福祉事業団職員の日頃のご活躍に対するものであり、私が代表で拝受してきたと思っています。

障害者を守る立場から多様化する日本の社会を直視して、職員の皆様には常に反省と将来を見据えた夢を持ち、それを実現する努力を期待しています。そして総合リハが日本の先導を努めていただきたいと思います。

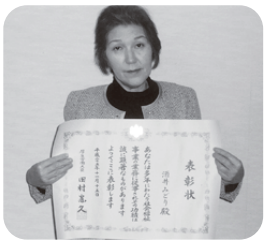
最後に、私の数々の失敗を温かく見守っていただいた澤村顧問や職員の皆様に改めて御礼を申し上げます。

厚生労働大臣表彰

「厚生労働大臣表彰を受賞して」

出石精和園児童支援課長　酒井　みどり

このたび光栄なことに、社会福祉事業従事功労分野の厚生労働大臣表彰を頂きました。私は昭和五十二年から出石精和園に勤務し、知的障害者支援に従事してきました。障害児・者福祉もめまぐるしく変化していますが、常に利用者の夢や希望を叶えていけるよう頑張っていきたいと思っています。このような賞を頂けたのも良き仲間、良き上司、やり甲斐のある仕事に恵まれたからだと、あらためて皆様に深く感謝申し上げます。



永年勤続職員表彰

十二月四日（水）、当事業団永年勤続職員表彰式を行いました。併せて二十年勤続該当職員に全国社会福祉事業団協議会永年勤続者表彰の伝達を行いました。受賞者は次のとおりです。

〈三十年勤続職員表彰（十四名）〉

総合リハビリテーションセンター　宮原 典子　岡野 良樹
出石精和園　足立 年永　山科 智恵美　大上 定正
五色精光園　辻　敏弘
赤穂精華園　寶野 晶宣
ひまわりの森　山﨑 康行
たじま荘　黒田 亮一　横山 一夫
奥 佐智代　森田 明男
洲本市五色健康福祉総合センター　谷口 美也子
浜坂温泉保養荘　谷岡 里美

〈二十年勤続職員表彰（三十三名）〉

総合リハビリテーションセンター　田中 哲也　笹野 千恵子　谷川 久美子
今中 隆洋　米澤 大輔　長野 美香
宮部 睦美　名倉 直也
西播磨総合リハビリテーションセンター　中原 美由紀　高野 和貴
小野起生園　西田 眞知子
出石精和園　吉田 和代　山脇 雄樹　塩津 成弘
赤穂精華園　眞鍋 克彦　篠原 けい子
五色精光園　奥山 穣
丹南精明園　木村 正明　山本 浩文
椋本 哲次　真田 一如
三木精愛園　中西 潤　三枝 知子　藤井 美紀子
清水が丘学園　奥山 仁美　竹中 久美子
あわじ荘　中原 克子　渡邊 千恵美
丹寿荘　藤澤 直幸　高見 里美
洲本市五色健康福祉総合センター　笠原 弘一　山口 仁嗣
立雲の郷　堀尾 典之

第百六十八回理事会

○平成二十五年十一月二十九日（金）
○議案　第一号議案　評議員の選任について
○新たに評議員に選任された者
評議員　宮地　毅（コープこうべ福祉介護事業部事業部長）
評議員　竹中　昌之（㈱エスコアハーツ代表取締役社長）
評議員　中野　悦子（（公財）兵庫県看護協会第一副会長）

資格取得促進事業

資格取得促進事業は、職員が業務を遂行するうえで必要な資格の取得に対し、報奨することにより職員の自己啓発意欲を高め、業務に関する知識・技術の向上を図ることを目的とした事業です。以下の六十七名の職員が合格されました。

【社会福祉士】
柴垣重美・金海太一・仲山喜夫・田中俊充・船波寛子・川見和彦・若森崇

【介護福祉士】
辻谷よう子・山本淳彦・岡本すゑ子・青木真俊・安藤さゆり・井上歩・猪俣真由美・薬師寺悦子・中村由美子・中尾有里佳・石美樹梨・白鯛美帆・吉谷典宏・塚本舞・大滝敏雄・太田和人・牧野英樹・井村幸代・橋本華那・岡田由梨・乙井美穂・原田和美・山本雅宣・塚本茂美・野村美幸・林亜衣子・重近真由美・玉木誠・室井満子・池渕栄作・森本和彦・井手祐司・岸大介・楠謙一郎・田賀智心・寺川優奈・反橋悦子・森田明男・大田垣ひろみ・眞野均・楫三由紀・三宅誠・上地陽太・武中正悟・時本洋和・近藤真也・山本洋敬・村山精宏・菅川浩彦・矢折尋志・横山信弘・岡本展明

【精神保健福祉士】
加藤史久・行保友代・山本宗幸・船波寛子

【介護支援専門員】
中村美香・中村有佳里・中井弘美・南正子・山盛亜紀

（敬称略）

シリーズ　次長・課長に聞く

「丹波丹ファームの取り組みについて」

第4回

丹南精明園　課長(地域支援担当)
山本　浩文

今年度四月に丹南精明園就労継続支援B型事業の出張所として丹波丹ファームを開設しました。

丹波市の立地特性と丹南精明園の障害者の就労支援のノウハウを生かして「農業」をキーワードに、障害種別(知的・身体・精神)を限定せず、それぞれの障害特性に適した業務を開発・プログラム化し、「障害者の就労・雇用の場の創出」を目的として取り組んでいます。

利用者の興味や関心を踏まえ、試行錯誤しながらいろいろな作業をしてもらい、各々が得意な作業や向上が見込まれる作業に従事してもらうように進めていきました。

まずは、土作りで畑に鶏糞を入れ、農具を使用して畝立てを行いました。初めて農業をされる利用者の方も職員に教わったり、見様見真似で農具を使いこなされていました。

ビニールハウスでは、トマト苗を五百本植えました。苗には支柱が必要です。購入することもできるのですが、工賃を少しでも多く支給できるよう、近隣の竹林で竹を切り、支柱作りをしました。そして、苗一本一本に心を込めて支柱を立てていき、成長を願いました。その成果もあって、夏には美味しい真っ赤なトマトを収穫することができました。

現在は、主にビニールハウスでいちご栽培を行っています。この「青い鳥」が発行される頃には、真っ赤で甘いいちごが収穫できていることと思います。

障害者や高齢者の支援には長年の経験もあると自負しておりますが、何分「農業」や農産物を使用した加工品開発については、心許ないものがあります。地元の皆様のご協力やお知恵を拝借して、この丹波丹ファームの事業を軌道に乗せていきたいと思います。

この記事をご覧いただいた方で、お近くに来られたときには、ぜひ丹波丹ファームにお立ち寄りください。

平成二十五年度 職員提案の審査結果

職員提案制度は、職員から事業団の業務・運営に対する意見を募集し、運営の改善や利用者サービスの向上を図る制度です。今年度は百一件の応募があり、職員提案審査会で審査した結果、優良賞三件が選定されました。

今後とも、事業団の業務・運営の改善及び新たな施策・事業に関する提案のご応募をお待ちしています。

表彰等	提案者 施設名	提案者 氏名	提案タイトル
優良賞	出石精和園	田熊広一	法人内の通知集の再編・監修について(財務関係以外)
	福祉のまちづくり研究所	水口信宏	既存事業改善策に重点をおいた事業ヒアリングの実施
	五色精光園	辻　敏弘	重大な事故や苦情等のデータベース化、情報公開・共有化による、事故等未然防止

平成25年度兵庫県社会福祉事業団

広報誌コンペ 審査結果

今年度の広報誌コンペは、「広報誌の部」【広報誌部門】十八点、【たより・チラシ部門】に十七点の応募があり、「ホームページの部」は十月二十五日現在の各施設ホームページ三十一点を審査対象とし、各部門一次選考及び最終選考を経て、各賞を決定しました。

受賞施設は次のとおりです。

「広報誌の部」

【広報誌部門】

賞名	施設名	広報誌タイトル
理事長賞	たじま荘・ことぶき苑	いなんば9号
金賞	三木精愛園	精愛園だよりvol.61
銀賞	福祉のまちづくり研究所	アシステック通信69号
銅賞	職業能力開発施設	ひょうご障害者しごと体験事業 平成24年度就労体験事例集

【たより・チラシ部門】

賞名	施設名	たよりのタイトルまたはチラシの内容
理事長賞	総合リハビリテーションセンター管理部門	5がつえんだより(保育室)
金賞	洲本市五色健康福祉総合センター	ひろいしの里第60号
銀賞	朝陽ケ丘荘	あさひ通信増刊号
銅賞	あわじ荘	あわじ荘デイサービスだより

「ホームページの部」

賞名	施設名
理事長賞	中央病院
金賞	福祉のまちづくり研究所
銀賞	赤穂精華園
銅賞	こども発達支援センター

人の動き

ごくろうさまでした

○平成二十五年十二月三十日付退職
▼小野起生園
支援課支援員・**植村英之**

○平成二十五年十二月三十一日付退職
▼総合リハビリテーションセンター
中央病院看護部看護師・**佐野奈美子**、同・**堀内美穂**
▼西播磨総合リハビリテーションセンター
西播磨病院看護部看護師・**山本夏菜**
▼洲本市五色健康福祉総合センター
五色・サルビアホール総務課主事・**山本優季**

よろしくお願いします

○平成二十五年十一月一日付採用
▼総合リハビリテーションセンター
中央病院看護部看護師・**三井未奈子**、同・**藤原逸子**、同・**儀橋菜都美**

○平成二十六年一月一日付採用
▼総合リハビリテーションセンター
中央病院看護部看護師・**清水樹里**

ご結婚おめでとうございます

～未永くお幸せに～

○平成二十五年十一月二十三日(土)
朝陽ケ丘荘
支援員　南　正子さん
(旧姓　森脇)

お悔やみ

～謹んでご冥福をお祈りいたします～

○平成二十五年十月十八日(金)
小野福祉工場作業員
横田正治　様(享年47歳)

施設だより

～発達障害の不思議な世界～ 第4回 専門職研修会を開催

こども発達支援センター

第二部は当センター作業療法士による療育の実際についての講義、第二部は姫路獨協大学の客員教授の太田篤志先生をお招きし、様々な事例や道具を用いて、発達障害のある子どもを共感的に理解し、支援することの大切さをご講義いただきました。各療育機関、幼稚園・小学校等の関係機関から百六名の方にご参加いただき、大変好評でした。

児童寮竣工記念「かべの絵アートプロジェクト」

赤穂精華園

十月二十日(日)、当園児童寮のスロープを子どもたちが描いた絵で彩る「かべの絵アートプロジェクト」を実施しました。全長約五十五m、高さ一～三mの無地のスロープを賑やかにペインティングし、子どもらしい施設にしようとプロジェクトを始動。小雨の中、ボランティアを含めて約六十名が参加し、童話の世界のような鮮やかな壁アートを完成させました。

兵庫県委託事業・介護技術講習会を開催

あわじ荘

十月二十四日(木)、兵庫県の委託を受け、介護技術講習会を開催し、当荘職員が講師を務めました。高齢化の進んでいる淡路島において、在宅で介護されている介護者の負担が大きくなっており、今回は理学療法士による講義のあと、介護福祉士による実習を行いました。

参加された皆様より「実際に自分がその身になってみて、介護される方の気持ちが分かった。」「実技ができて、より分かりやすかった。」との感想が聞かれました。

創設20周年式典・シンポジウム開催

福祉のまちづくり研究所

十一月九日(土)、兵庫県公館において「新たなる技術が切り拓く未来」をテーマに開催しました。基調講演では澤村誠志初代所長から、この二十年の歩みと今後の展望をお話しいただきました。シンポジウムではミュンヘン工科大学のティム・ルーツ教授の基調講演に続き、ロボット分野の第一線で活躍中の研究者によるパネルディスカッションを行いました。ロボットリハビリテーションの今後について様々な提言をいただき、二百五十名の参加者も熱心に聞き入っていました。

ミュンヘン工科大学と姉妹提携締結

中央病院

この度、当院ロボットリハビリテーションセンターは、ドイツで医療機器の開発や企業との連携において大きな実績を上げているミュンヘン工科大学機械工学部マイクロ技術・医療機器講座と姉妹提携を結びました。これにより、人材・技術交流が深まり、ロボットリハビリ事業の更なる推進が可能になりました。

総合防災訓練を実施しました！

たじま荘

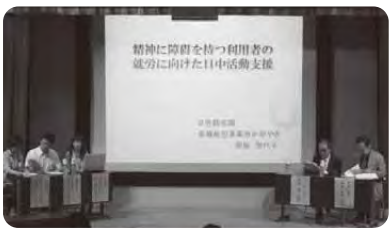
十月二十七日(日)、地震を想定した総合防災訓練を実施しました。

当荘入所者、福祉関係機関、地域関係者、家族会員と職員の総勢百八十九名で行いました。参加者の真剣な行動に災害に対する意識の高まりを改めて感じました。

入所者救助と非常食の提供訓練を、参加された皆様のご協力を得て実現できましたことに心より感謝します。

精神障害者支援技術習得研修会

のぞみの家



十月二日(水)、神戸大学医学部精神科神経科准教授の田中究氏を特別講師にお招きして、障害者施設等の職員を対象とした標記研修会を開催しました。当日は、十九施設から七十九名の参加があり、田中氏による基調講演、事例発表者と田中氏及び西播磨病院認知症疾患医療センター長の柿木達也氏によるシンポジウムを盛会のうちに終えることができました。

立雲の郷 居宅介護支援事業所を開設しました！

立雲の郷

十月一日(火)、天空の城「竹田城」が望める立雲の郷内に、居宅介護支援事業所をオープンしました。利用者様一人ひとりの個性を大切にしながら、寄り添い、自宅での生活の困ったことを解決するために一緒に考えていきます。

第39回 清水が丘学園祭を開催

清水が丘学園

十一月三日(日)、学園祭を開催しました。今年度はあいにくの天候の中での開催となりましたが、子ども達はペットボトルダンス、よさこい、ゲタップなどを最後まで笑顔で取り組みました。模擬店も好評でチケットが早々に売り切れる程でした。雨の中大勢の方々の温かい拍手の中、無事終えることができました。

※ゲタップとは、下駄で踊るタップダンスの意

神戸市西区 健康福祉フェアに参加

あけぼのの家

十月五日(土)、神戸市西区健康福祉フェアに参加しました。当施設は「焼きドーナツ」「クッキー」「ラスク」を販売しました。ぐずついた天気でしたが、大勢の方に足をお運びいただき、たくさん販売できました。また、イベントや多くの店舗が出店されており、とても楽しい一日となりました。

写真：ボランティアグループ「クミコ・フラ・スクール」の皆様によるフラダンス演出

第8回 五色精光園祭を開催！

五色精光園

十月六日(日)、第八回五色精光園祭を開催し、今年もボランティアの皆様等のご協力で、園芸・露店・バザーなど様々な催しを実施することができました。天候にも恵まれ、六百名程の方にご参加いただき、賑やかな園祭となりました。また、多くの方々と交流ができ、利用者様も喜ばれ、楽しい思い出の一日となり、盛会に終えることができました。

出石精和園祭を開催！

出石精和園

十月二十日(日)、毎年恒例の「第二十三回出石福祉まつり&第二十九回出石精和園祭」を出石文化会館において行いました。天候はあいにくの雨となり、お客様の入りも心配されましたが、児童寮のメンバーによる「よさこい」や全寮合わせてのミュージックケア、バザーやうどん店「楽々庵」等の出店の売れ行きも良く、大成功に終わりました。参加者の皆様には楽しい一時をお過ごしいただけたと思います。

福祉まつりに参加 ～ハートフルフェスタ二〇一三～

ひまわりの森

九月二十八日(土)、香美町香住区内で活動する福祉団体や関係機関が集まって開催された「福祉まつり～ハートフルフェスタ二〇一三～」に参加しました。

利用者様は屋台での買い物やステージで歌の披露をされるなど、笑顔のあふれる楽しい一日となったようです。

また、職員は屋台を三軒出店し、ご来場の方々にご好評いただきました。

ことぶき苑祭を開催！

ことぶき苑

十月二十六日(日)、台風の接近により屋内での開催となりましたが、開始とともに穏やかな天気となり、地域からも大勢の方にお越しいただきました。

演芸大会では、歌手・五川翔子さんの歌謡ショー、地元有志グループによる銭太鼓、日高町吹奏楽団による吹奏楽演奏などを楽しみました。例年よりコンパクトな会場でしたが、賑やかで盛大な苑祭となりました。

第2回 サルビア文化祭を開催！

洲本市五色健康福祉総合センター

十一月七日(木)、第二回サルビア文化祭の表彰式を行いました。十月四日(金)の「サルビアの日」から約一ヶ月間、当センターを利用されている利用者様の作品を展示し、家族の皆様や地域の方にもご覧いただきました。一年間の集大成だけあって、富士山をモチーフにした団体作品や書道、手芸、川柳など見事な作品が並びました。

第4回 moimoiフェスティバル(三木精愛園運動会)開催！

三木精愛園

十月三日(木)、第四回moimoiフェスティバルを盛大に開催しました。パン食い競争や障害物リレー、紅白玉入れ、選抜利用者と職員の混合対抗リレー等を行い、白熱した戦いとなりました。

終了後は恒例の「カレーハウスmoimoi」のカレーとかき氷を全員で食べました。さわやかな秋空の下、ほどよい汗とスポーツの楽しさを感じる充実した一日となりました。

第2回 地域ふれあいの集いを開催

丹寿荘

十月五日(土)、当荘にて第二回目となる「地域ふれあいの集い」を開催しました。あいにくの雨天となりましたが、大勢の方にご参加いただき、利用者様にも楽しんでいただけました。また、多くのボランティア等のご協力もあり、盛大に終えることができました。ご協力ありがとうございました。

スポーツ・文化だより

ドラゴンボート東アジア競技会メダル獲得！

西播磨病院

中国・天津で開催された東アジア競技会のカヌードラゴンボートの種目に、当病院看護師の東海林雅幸、山本洋史、藤井麻央の所属するアマチュアクラブチーム「磯風漕友会」がJOC(日本オリンピック協会)から日本代表として出場しました。十二人艇で銅メダル二個、二十二人艇ではプロチームでもある中国を破っての銀メダル一個の好成績でした。出場するにあたっては、病院スタッフの応援と支えのお陰であり、結果を残して帰ってこれたことは大変嬉しく思っています。

全国障害者スポーツ大会 全国大会で金メダル！

小野起生園

十月十二日(土)～十月十四日(月)、秋晴れの中、東京で開催された標記大会に参加しました。種目は砲丸投げで、前回は岡山県の代表として全国大会に参加しメダルは取れませんでしたが、オリンピック開催が決定した東京で金メダルを取れたことは本当に嬉しかったです。今後は次回の大会に向け、練習していきます。

掲示板

看板がやって来た！

浜坂温泉保養荘

看板といえば今やパソコンで容易に制作する事が可能となりましたが、「天然木に自筆の看板」にこだわり、文部科学省認定の毛筆書写検定で最高位の一級を取得された達人で、現在は本職の傍ら、旅館や店舗の看板を自筆で書かれる新温泉町内在住の方に一筆依頼しました。天然木(栃の木)を岡山県から取り寄せ購入、完成したものがこちらです！

ハロウィン祭！

おおぞらのいえ

「みんなでハロウィンを楽しもう！」を合い言葉に、子ども達も職員も仮装して総合リハセンター内を巡りました。子ども達が訪問すると、お菓子のプレゼントあり、写真撮影ありで想像以上に歓迎され、子ども達は大喜びでした。来年はお互いに仮装して楽しみませんか？ハロウィンを広めよう！

いちごの花が真っ盛り

丹南精明園(丹波丹ファーム)

九月に植え付けたイチゴが花をつけ、ハウス内はまるで春の様な雰囲気です。実が赤くなり、ハウス内は甘いイチゴの香りに包まれています。

皆様にも是非、イチゴ摘みを楽しんでいただける企画を考えたいと思います。お楽しみに!!

お買い物サロンを開催しました

万寿の家

九月二十三日(水)に初めての試みとして、業者の方と連携し「万寿の家お買い物サロン」を開催しました。衣類を中心に介護グッズ等を購入いただける機会となり、当日は十一のご家族の方が来所され、利用者様と買い物を楽しまれました。商品ディスプレイや音楽が流れる会場はブティックのような雰囲気があり、皆様に好評でした。

ペンりれい

「関白宣言 ～二〇一四年～」

赤穂精華園　授産支援課支援員
寅屋　淳平

謹賀新年、本年もよろしくお願いいたします。今年の干支は午年ということで昨秋、乗馬ライセンスを取得しました。「ホースセラピー」という言葉があることからも、馬には目に見えない、人々の疲れを癒す強い力があります。私自身、乗馬を体験したことで心がとても癒され、爽快な気分となりました。爽快さを例にしますと、私が神戸から赤穂まで毎日行う通勤ドライブよりも爽快です。

さて、昨年はライセンス取得だけでなく、本当に中身の濃い一年となりました。その一つに三十歳という節目を迎えたことが挙げられます。「この節目の年を印象深いものにしたい！」との思いから、三十歳の誕生日に入籍しました。男性の誕生日に入籍する人は珍しいようです。新婚生活はドラマやマンガ、某局で放送される「新婚さんいらっしゃい」で見た世界とは大きく違っており、半沢直樹のように、波瀾万丈な生活が待ち構えていました。夫婦喧嘩は勃発し、避難場所であり、癒しの場は馬の背中しかなく、一時はどうなるかと思いました。現在、夫婦仲は良くなり、安定期を迎えつつあります。結婚して約半年が経過しましたが、夫婦生活がうまくいくように妻は家事を一生懸命こなし、それ以外でも私以上に努力をして頂いており、とてもとても感謝しています。

※妻に足をつねられながらこの記事を書いています。

次回は、小野起生園総務課　主事
高山　淳実さんです。

海外派遣研修報告

オーストラリア研修を終えて

事務局経営企画部事業課
北川　裕訓

十月十九日(土)～二十五日(金)までオーストラリアシドニーへ研修に行かせていただきました。

日本からシドニーへは香港経由で約七時間、時差は二時間です。気候は、観光(私たちは研修です)するには最も良い時期と聞いていましたが、向こうも異常気象のようで、予定では春だったはずが真夏並みの暑さ…。現地の人達がTシャツタンクトップ姿だったのに対して、我々日本人チームだけが長袖で滑稽でした。

まずシドニーの町を歩いて気付いたのは、多くの人種の方が町を行き交っていることでした。オーストラリアは移民が非常に多く、人口のほぼ四人に一人が外国生まれといわれており、福祉においては西欧のような「高福祉・高負担」や、自由競争のもと実施しているアメリカのようなものではなく、自立を原則とした最低保障です。財源は税金による一般財源で賄い、国によるサービスが不足する部分は民間サービスを利用するという方式がとられており、西欧とアメリカとの折衷福祉のようでした。このようなことからオーストラリアの福祉は「中福祉・中負担」と言われていますが、実際には消費税十%に加えて、収入が年間五百万円以上の方には所得税が四十七%も課税され、さらに医療費として収入の一五%を納めなければならないので、オーストラリア人にとっては「高福祉・高負担」といえるようです。しかし、オーストラリアの高齢者には生活に対する不安がほとんどありません。なぜなら、年金は掛け金なしで受け取れ、施設や在宅サービスとも年金だけで賄え、サービスで年金を使い果たす事のないシステムになっているからです。この点は日本と大きく違う点です。

またオーストラリアでは、日本でいう特養や民家型のショートステイ等の施設を見学することもできました。施設には体のとても大きな方も入居されているので、ノーリフトが徹底されていました。あと気付いたのは、どこの施設に行っても入った瞬間にフローラル系のよい香りが漂ってきて、清潔さが感じられました。

施設の視察以外には、オーストラリアの認知症ケアの第一人者であるボブ・プライス氏の講義を受ける機会に恵まれました。ボブ氏が「認知症は進行とともにいろいろな記憶や技術が失われる。認知症は究極な泥棒である。支援者は、認知症の方の過去の情報を紐解き、認知症の方の世界を理解できる名探偵にならなければならない。」と話されていたことが印象的で、認知症の内的世界を学ぶことができました。

貴重な良い経験をさせていただいた事に心から感謝申し上げます。

海外派遣研修報告(スウェーデンコース)

洲本市五色健康福祉総合センター
友納　和也

十一月十日(日)～十六日(土)までの六日間、「福祉先進国」として有名な北欧スウェーデンへ研修に行かせていただきました。ストックホルム、ウプサラ、ハニンゲ各都市の高齢者施設等を視察しました。

スウェーデンの街並みは、まるで物語の世界のようで、どの景色も見とれるばかりでした。日本とは違い、ヨーロッパの方は古い物をとても大事に使うので、昔ながらの煉瓦造りの建物等が現在も当時の面影を残していました。

滞在中に五つの高齢者施設等を見学しましたが、築年数が二十年近い施設もあり、かなり古い建物でしたが、前述したように綺麗に改修等がなされ、まるで新築のような趣でした。

ご存じのようにスウェーデンは「高福祉・高負担」の国で、日本とは百八十度考え方も制度も生活習慣等も違います。収入の三十%を税金で納め、消費税は最高二十五%。国土は日本の約一五倍で人口は九百四十万人と日本の東北地方より少ないそうです。

高齢者ケアの基本は「在宅での生活」「徹底した自立支援」「自分のことは自分でする」ということがとても重要視されています。加えて、「個人の尊厳」をとても大切にしていることが各施設視察で身を持って感じました。

施設を利用又はお住まいの方に「ここに来て(居て)楽しいですか?」と質問すると、「楽しいのは当たり前でしょ。なぜなら私は自分の意思でここに来ているのだから。」ときっぱりと言われ、とても逞しさを感じました。

短い期間でしたが、「福祉先進国」であるスウェーデンの一部を垣間見ることができ、このような機会を与えていただいた事業団に心から感謝したいと思います。

新婚旅行以来十三年ぶりの海外。飛行機が大嫌いな私には、かなり過酷な旅でしたが、そのつらさを打ち消すインパクトのあるとても充実した研修になりました。また、他の法人等や会社から参加していた方たちとも交流ができ、とても良い出会いにも恵まれました。

この研修は私にとっての財産であり、これから仕事をするうえで、良い影響を与えてくれると確信しています。ありがとうございました。

「Tack sa mycket!」(スウェーデン語でありがとうの意味)

※詳細は報告書としてまとめましたのでご希望の方は送付いたします。

特集 年男・年女さんに聞く

①ズバリ!今年(平成26年)の抱負や意気込みを一言でどうぞ!

②後12年後のご自身へのメッセージと、前12年前のご自身へのアドバイスをお願いします!

たじま荘
支援員　前田 ちなみ
①ちょっと?身体が重くなったので、36歳の体重くらいまで戻りたい。
②後よくぞここまで身体がもったな。自由な時間を過ごしたい。
前あの頃は若かったから身体も良く動いていたなあ〜。

あわじ荘
支援員　小谷 康文
①ゴルフで80切ります。ン?毎年言ってますね。
②後石川遼くんに勝てましたか?
前あなたの選んだ道、違った道もあったのでは?まあ今はそこそこ楽しくやってますけど。

丹寿荘
支援員　井上 肇
①干支のように止まることなく、一気に駆け抜け充実した年にしたい。
②後先ずは、自身が健康で毎年目標を持ち生活したい
前「忙しい、忙しい」と親の話を聞かないのは親不幸

洲本市五色健康福祉総合センター
支援員　西浦 孝二郎
①貯金、禁煙、禁酒、趣味を見つけたいです。
②後コレステロール値、下がりましたか?
前食生活を見直しなさい。

立雲の郷
理学療法士　足立 恵子
①仕事もプライベートも充実した1年を送りたいです。
②後今も元気でPTとして働いていますか?
前若いうちにもっと色々頑張っておけば良かったのに…。

浜坂温泉保養荘
支配人　奥 正樹
①施設の話題づくりをして、流行語大賞を狙う!
②後定年かぁっ。お疲れ様。これで事業団も静かになる事でしょう。
前人、物、金が豊かな時代だからと言って、現状に満足してたらダメダメ!もっと未来を見据えなさい!

五色精光園
支援員　清水 八陽江
①桜前線を追って南から北上して、全国の桜を見たい!見るぞ!
②後天空の城「マチュピチュ」への出発の朝、夢を夢で終わらせないように。
前感謝の気持ちは素直に伝えましょう。(伝えていますか)

赤穂精華園
支援員　箱根 滿壽美
①今年からは「日々気合い」で過ごすより、「響き愛」で私らしく頑張ります。
②後主人と2人ゆったりと!!後はきっと優しい下り坂です。
前大丈夫、悩まず前へ…ありがとう。今の私があるのは貴方のおかげ♪幸せです。

丹南精明園
支援員　岩本 崇史
①介護福祉士の取得!そして、もっと専門性の向上を図る。
②後病気なく、元気に仕事出来てますか?
前もっと福祉等の勉強をしなさい!

三木精愛園
支援員　木下 真美
①一期一会、健康第一、そして四国制覇したいな・・・
②後おいしくお酒を飲んでいますか?
前通ってきた道も行く道も自分で選んだ道、後悔のないよう進もう!

こども発達支援センター
センター長　野中 路子
①あふれる情報や物に埋もれそう。断捨離を実践し、初心に戻る!
②後友人や仲間に恵まれていることに感謝。
前今まで通り、いつも通り、そして、少し肩の力を抜いて。

朝陽ケ丘荘
支援員　谷口 良政
①ビジョンをしっかりと持ち専門職として業務に就きたい。
②後組織の大きな歯車となり生産性の高い職員を目指す。
前迷わず自己研鑽に努めて欲しい。もう少し勉強しよう。

福祉のまちづくり研究所
特別研究員　中村 豪
①自分で決めた目標を必ず達成するようにします。
②後12年後に向けて頑張ります。
前「自分へのアドバイス」を準備しましょう。

西播磨総合リハビリテーションセンター
西播磨病院
リハビリ療法部次長
石谷 典子
①手抜きになりがちだった事に力を注ぎたいと思います!
②後時間を楽しみ、毎日笑顔で過ごしていて欲しい。
前もっと子どもと過ごす時間を大切にしなさい。

小野起生園
支援員　市野 祐己
①去年は変化のない一年でしたが、今年は変化の一年にしたいです。
②後小さな日々の幸せに対してありがたみを感じて下さい。
前人のせいにはせず、自分の人生を自分で歩んで下さい。

出石精和園
支援員　宮坂 洋子
①今まで支えてきて頂いた人たちが幸せになるよう、皆様へ恩返しをしたいと思います。いつでも信頼され、愛される人格になれるよう、今年も努力していきます。
②後12年後は36歳…宝物のような、主人とこどもに恵まれ、幸せな家庭を築いていきます。
前12年前は小学6年生、ばりばりバレーボールに取り組んでいました。

事務局
総務部次長兼人事管理課長
大西 伯典
①農家の跡継ぎとして生まれ、48年目にして人生初の酒米作りにチャレンジする!!?。
②後酒米作り12年目、納得のいく良い酒米は出来るようになったか。
前農家の跡継ぎとして、もっと自覚すべきだ。

のぞみの家
支援員　藤井 多紀子
①今年1年これまでしたくてもできなかった事にトライし大いに羽ばたきます。
②後元気で頑張っていますか?
前よく頑張ったね。

中央病院
主事　三浦 永誉
①QOLの向上を目指す!!
②後"お疲れさま"
前"頑張れ"

あけぼのの家
能力開発部次長兼職業指導課長
西田 元貴
①神戸マラソン(クォーター)完走目指して走り込み。
②後温泉三昧しているくらい元気でいられれば‥
前もう少し健康への意識をもって生活していたらなあ‥と思う。

障害者スポーツ交流館
体育指導員　長井 香織
①知的美人を目指し、清純を保つ!フェロモン出します!!
②後夢を叶えることは出来ましたか?人生を謳歌してください。
前先生の話を真面目に聞きましょう!

行く年来る年 兵庫県社会福祉事業団における平成二十五年の主な出来事

三月
・赤穂精華園児童寮建替工事竣工
四月
・新会計基準に移行
・多機能型事業所ひまわりの森、ひまわりの森村岡ブランチが出石精和園から独立し、単独事業所として開始
・丹南精明園の就労継続支援B型事業所出張所として丹波丹(まごころ)ファーム開設
・浜坂温泉保養荘料金改定
六月
・総合リハビリテーションセンター管理棟耐震補強工事開始
八月
・豊岡市新庁舎内に楽々庵豊岡店オープン
九月
・小野起生園で身体障害者を主な対象としたグループホーム開設
十月
・立雲の郷内に居宅介護支援事業所開設
・福祉のまちづくり研究所創設二十周年記念式典・シンポジウム開催
・ミュンヘン工科大学とロボットリハビリテーションセンター姉妹提携締結
・浜坂温泉保養荘三十周年(看板・玄関周り・客室を新調)
十一月
・ロボットリハビリ　商標登録取得
・海外派遣研修の実施
・丹寿荘避難スロープ完成
番外
・丹寿荘避難スロープ完成

あとがき

二〇一四年が始まりました。気持ち新たに、明るく楽しく充実した一年にしてまいりましょう!

さて、「青い鳥」は皆様にとって、より一層「手元に届くのが楽しみ」な広報誌にしていきたいと考えております。アイデア等ありましたら、お近くの編集委員までお寄せください。

本年一年のご多幸をお祈りいたしております。

え